

# 「人生100年・まちづくりの会」通信

VOL.II 2023年秋

Newsletter



「ひろばの家・那須1」の15坪の標準図面を希望の通りのワンルームにしました。

私に移住を決めるまで

## 那須で住まう

四季を通して何度も足を運び 景観の美しさにも惹かれた！



私には「筋ジストロフィー福山型」という難病を患う子どもがいました。病院や養護学校までの道程は車で1時間。介護生活は、ごく限られた方たちとの狭い関係になっていきました。18歳で子どもとの別れを経験したのち、しばらくは家のなかで一人ぼつんと、なにも手に付かない状態でした。地域のコミュニティに入るうするタイミングもエネルギーもありません。

そんなとき、〈那須まちづくり広場〉の計画を知りました。新しいコミュニティを創生する。それは人生のリセットをみんな一緒に始めるようで、希望がもてました。いろいろな地域で多様な経験をもった方たちと暮らすのは難しいようですが、「人生100年・まちづくりの会」に参加していくと、自ずと似たような価値感を持った人と出会います。夫は那須に通ううちに四季折々の景観にも惹かれたようでした。車窓から見える景色が美しい。

なぜ、高齢期に向かって寒冷地に？ とか、まだ還暦になったばかりで高齢者施設？ と言われました。でも、冬場には凍結防止作業などは必要ですが、1月の転居後寒さは思ったほどではありませんでした。それに、〈那須まちづくり広場〉には、高齢者施設のイメージとはかけ離れたアクティブな活動、習い事、演奏を楽しんだりできます。なにより自由きままに過ごせます。難点は居室内外がバリアフリーで、飼い犬も出入り自由になりやすいことかな。対策を考え中です（笑）

（2023年1月より「ひろばの家・那須1」在住 はろば ちゆり 羽深雅由美さん）



那須の衣・食・カルチャー

## 天然酵母のパンとベーグル

〈那須まちづくり広場〉に工房をもつ コトリコーヒー

那須には人気のパン屋さんが目白押し。そんな地域に宮城県から移転してきたコトリコーヒーさん。「化学物質過敏症」の店主・庄司さんは、素材、製法にこだわり抜いています。コーヒー豆も自家焙煎で本格派。

広場内は出前もします。身近なところに上質の主食やおやつがあるのは、なにより贅沢なことかもしれません。

※化学物質過敏症/近年香料化学物質製品での発症者が急増し、社会的問題になりつつある。



開店日時：

金・土・日 11:00~16:00

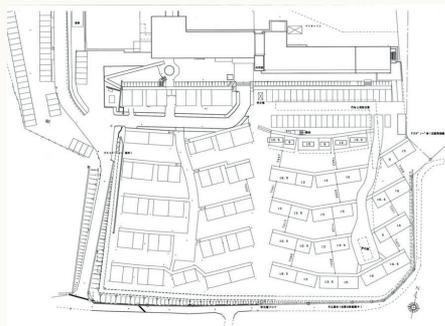
それ以外はマルシェで購入可。  
県外配送も可。店舗来店の際は、無香料でお願いします。





2022年12月に竣工した第一期「ひろばの家・那須1」の  
工事の様子

2024年春着工予定の第二期「ひろばの家・那須1」の  
増築図面の案



## 増築（第二期）「ひろばの家・那須1」新着情報

——2023年9月全体図が出来て、各部屋の基本設計案が始まります——

1

2023年  
11月頃仮予約

すでに第一期入居者の生活が始まっています。近隣への送迎車「ひろばGO!」の利用サービス、入退院時の送迎付き添い、「15年間分の家賃先払いシステム」など、第二期入居の方も同様の仕組みで生活ができます。

2

2024年春着工

ここ数年の建築資材・施工費などの高騰により、第二期の入居費用は坪単価が150万円ほどになりそうです。

3

2024年秋 竣工

第一期の居室を見学された方が「広さ」を求める方が多く、9坪、10坪、12坪、13.5坪、15坪、18坪、19.5坪の7タイプのうち、今回はやや大きめの居室を増やす予定です。年内のスケジュールは、居室平面図のオプション希望の受付、居室の予約、建築申請、サ高住申請となり、来年2024年春ごろ着工。2024年秋ごろ竣工を予定しています。



### 注目の！代表・ 近山恵子

多世代コミュニティ創生は常に悲喜こもごも、人間臭いドラマや現場の動きがあります。常識や計画通りにはいかないのが、これまでにないことを進めるときの当たり前。失敗も過ちも、YouTubeでもリアルにお伝えします。写真は2020年地域づくり表彰「小さな拠点部門」国土交通大臣賞受賞式（中央が近山）。

近山・佐々木YOUTUBE配信→



### 広場の 営業リアル！

増築が決まって、広場にはますます沢山の見学者がお越しになっています。学生さんの見学、行政の研修、そして、住まいをお探しの方。営業・佐々木ほかスタッフは、できるだけ沢山の情報をお伝えしたいので、日々の出来事を動画で配信する計画も立っています。



[3https://www.youtube.com/channel/UCtkCcb8KtUxMGL7PgThcFDg](https://www.youtube.com/channel/UCtkCcb8KtUxMGL7PgThcFDg)



### 設計工事の 現場から

校舎の改修、第一期の「ひろばの家・那須1」に引き続き、設計を担当させていただきます。「人生100年・まちづくりの会」にて、入居ご希望者の皆様が高齢期の住まいや暮らしに希望を持たれていく様子を間近で見ていると、私たちも大きなやり甲斐を感じました。また、新たにご入居される皆様との出会いを楽しみにしています。

（設計：株式会社VANS 木村よしひろ）

## 〈那須まちづくり広場〉で暮らす

平屋暮らしは理想でした。自由設計できるサ高住があるなんて。

田邊さんのお宅にお邪魔したとき、ちょうど修繕工事の方が来訪中でした。洗面所で汚臭がするというので、検査と補修に来られていたのです。まだ、入居から半年、さぞや他にもご不安やご不満をお持ちかと率直なご意見を伺うことになりました。

「工事は人のやることでしょ。いろいろありますよ。こうすればよかった、細かなところで希望と違ったということも正直あります。でも、100%を求めることで幸せを得られるともかぎりませんよ」。

田邊さんは10年ほど前から高齢期の住まいを探していたといいます。お父様が他界されたあと、お母様との女二人暮らしは物騒な目にも遭い、「いくつもの施設やサ高住も見て、資料を取り寄せていた」と言われます。住まいの希望としては、まず平屋が理想でしたが、サ高住では無理だと思っていました。それが「ひろばの家・那須1」に惹かれた一番の理由。そして、間取りが自由に選べるというのも調べた限りではないことでした。田邊さんは部屋を区切らずワンルームにして、収納室だけを独立させました。

ここに来て見違えるほど元気になって、友人たちが驚いているという田邊さん。地元のプールで健康管理をしている内にお仲間もでき、いまでは週三回も通っておられるとか。思わぬ庭の手入れに苦労もありませんが、自分たちの暮らしを自分たちの手でつくる喜びも大きいと笑顔の田邊さんでした。（〈那須まちづくり広場〉広報部）

写真1



写真2



写真3



写真1/南側の窓枠のサイドに物干し竿をさす折りたたみ器具をつきました。窓の採光を利用して洗濯物が乾きます。写真2/玄関にも折りたたみ式のコート掛けを。冬でも夏でも重宝しています。写真3/専用庭は建物から2mということでしたが、窓から見るとは、自然と自分で管理するようになりました。



田邊蘭子（たなべ・れいこ）

40代まで繊維素材から生地作り、デザイン、品質管理に至るまで、ファッション業界の総合ディレクションを担った。その後、両親の介護生活も経験し、社会福祉協議会にも参加。独居老人や、視覚障障害をもつ人々への支援を続けた。それらの活動を通じて、多様性や個人を尊重することの重さをしみじみ感じた。

そんなとき出会った〈那須まちづくり広場〉は、他にない住まいのあり方を感じさせた。理想の暮らしは人から与えられたり、用意されたものではなく、皆さんと一緒に作っていくものだと思っている。



写真4/高窓もつけました。

## 「人生100年・まちづくりの会」への素朴なQ&A

### 高齢者施設に入ると呆けませんか



「呆ける」は、一般的にいうと「認知症」ということになりますが、私は「認知症」を恐れていません。

でも、那須まちづくり広場に限っていると、呆けているヒマがない（笑）一人で物思いに耽ることはできません。長時間は人様が放っておいてくれないようです。広場には顔見知りも、観光

客も見学者も来ます。

むしろ、否応なく役割や仕事や趣味もち、また自分より困難がある人にちょっとした手助けをするうちに、人と関係をとることも慣れてきます。広場は自由を一番に重んじています。お互いの行きすぎた干渉は抑えられて、適度に心地よい関係性が育まれる不思議な空間です。



今号回答者：  
〈那須まちづくり広場〉代表：近山恵子

1988年より高齢者住宅を中心とした福祉のまちづくりの企画・運営、営業等のコンサルティングと実践を行う。一般社団法人コミュニケーションネットワーク協会那須支所長兼務。

質問大募集!! 読者の方からの素朴なご質問、お悩みにお応えします。回答者は毎回替わります。

今回の回答者・近山恵子の大好評の連続ブログ「那須日々刻々」はこちらから



# 「ひろばの家・那須1」の増築決定で 〈人生100年・まちづくりの会〉

## 那須で、多摩ニュータウンで、渋谷で!!

設計士も同席して、各地でスタート。すでに、具体的な暮らしのイメージ描いている方も。

一般社団法人コミュニティネットワーク協会那須支所の呼びかけで、本年2023年8月に〈人生100年・まちづくりの会〉が各地で3回開かれ、延べ42人の方が参加されました。

8月19日(土)に開催された那須会場には、すでに「ひろばの家・那須1」ご入居されている方や、那須まちづくり広場でカフェや高齢者デイサービス事業などを運営する協同事業者、金融機関のご担当者、新聞記者やまちづくりを専攻する学生さんも参加。現地で実際の居室や暮らしの様子を感じることができるのは、那須会場ならではの多彩なご質問をいただきました。

10日後の8月29日(火)に開催された都内多摩センター会場、翌30日の渋谷会場では、増築図面を見て居室を希望される方も複数名おられました。ご夫妻で高齢期は別々の住まいに暮らしを希望される方も。お互いの暮らし方を尊重するあり方は、新しいスタイルとして定着するかもしれません。

現在、多摩地域で、多世代住民交流拠点をプロデュースする〈那須まちづくり広場〉代表の近山恵子は、高齢化率の高い多摩ニュータウンで、高齢期に孤立する切ない事例をいくつか紹介し、仲間作りとほどよい距離を保ちつつ、お互いの助け合いのなかで暮らすことの必要性をお話し、会場の皆様の共感を得ていました。

会への参加で、「少子高齢社会の小さな拠点」で高齢期を暮らす利点も



猛暑の中、沢山の方にお集まりいただきました。

具体的に見えてくると、それまでの漠然とした不安や悩みも、希望や期待に変わります。また、今後近隣に暮らすかもしれない人たちと定期的に、様々な本音や問題点を語り合うことで、高齢期の共通の困り事や乗り越えたい課題も見えてきます。次回もみなさまのご参加をお待ちしています。



お気に入りの家具や花々に囲まれた、シンプルでスタイリッシュな居室。12坪1DKの一例。



「人生100年・まちづくりの会・那須」が終了後、コミュニティカフェ「ここ」で気軽なおしゃべりも。



病院や金融機関、大型スーパー、図書館、温泉などへ毎日運行する「ひろばGO!」も利用できます。

### 遠隔地の方へ!

見学はすぐには難しいけれど、設計の段階からご相談したい方、いまがチャンスです。ご相談、ご質問はオンライン会議ZOOMでも承ります。HPよりお問い合わせください。URLをお送りします。

### すごく興味がある……でも、まだ具体的なイメージがわからない、慎重に考えたい方へ!

対面でのお話やご相談が一番なのですが、人には向き不向きがあります。文字を読むことが共感や理解を深めることができるということもあります。そんな方には『Oil(老いる)』がおすすすめ! 〈那須まちづくり広場〉の誕生秘話からご自身の生活設計の必要性まで、どなたでもわかりやすく読んでいただけます。会へ参加される際の予習にもどうぞ。ご注文は全国書店、または支所まで!



HPからもっと詳しく!



一般社団法人  
**コミュニティネットワーク協会 那須支所**

電話: 0287-74-2312

URL: <http://www.conet.or.jp/>

〒329-3225 栃木県那須郡那須町豊原丙1340

参加申込みから『Oil』のご注文なども、QRコードでも! →

